

願成寺報

平成十八年二月十二日

〒四四〇・〇八二 豊橋市東新町二十八番地

☎ 〇五三二・五二・九六〇一

■ 報恩講のご案内

左記により報恩講を勤修いたします

報恩講は御開山親鸞聖人のご恩を報ずる法会で、真宗寺院および門徒にとつて一番大切な行事です。今年は聖人の七四四年忌に当たります

万障お繰り合わせの上、お誘い合わせてお参り下さい

早春の一日をゆったり過ごして頂ければ幸いです

— 記 —

二月 十八日(土) 午前十時 法話 戸田 信行 師

午後一時半 お非時(粗飯準備します)
午後一時半 法話 戸田 信行 師

十九日(日) 午前十時 法話 戸田 信行 師
お非時(粗飯準備します)

午後一時半 法話 戸田 信行 師
汁粉



本山 HP (<http://www.senjuji.or.jp/>) より
御影堂平成大修理

○ 今年も沢山の年賀状を頂きました。「新しい年が良い年でありますように」とあります。私もそんな風にかきたいのですが、坊さんとして少し躊躇します。当山では毎年三十件程度の葬儀があるのですから。お寺さん、良い年であるように願ってくれたのに…
徳の低さを露呈してしまうことになりました。
悩んだあげく、こんな風にかきます。「新しい年が意義深くありますように」我ながら上手くごまかしているな。だって、意義深くなるかどうかは、皆さんの責任なんですから。
○ 戸田先生は坊さんの心得をこんな風に話されます。
一・掃除、二・勤行、三・勉強
掃除はとび抜けて大事だと言われます。ですから、戸田先生を寺にお迎えするのは大変です。掃除の度合いで、どんな風に過ごしているかバレてしまいます。ツケヤキバでも頑張つて準備していきます。頑張つた分だけ報恩講が意義深くなるのだから。
皆さんのお参りをお待ちしています。

○ 本山義納金(金壱千円)について

昨年につき集めません。
本山御影堂の修理は順調に進んでいます。
当山としての募財は本年末で終了です。
来年には本山に簿財名簿を提出し、記念品をお手元にお届けする予定です。

「見据える信」

子供が泣きながら何かを訴えています。しかし私は忙しい。こんな時、皆さんはどのように対応しますか？「分かった、分かった」と言いませんか？そして子供を余計に大泣きさせていませんか？

「分かった」は、その事柄を了解した時よりも、その事柄に興味が無くなった時に多く使われるように思います。

『深く探求すればするほど、知らなくてはならないことが見つかる』

『世界について最も理解できないことは、世界が理解できるといふことだ』
アインシュタイン先生の言葉です。同様にニュートン先生も言います。

『私は海岸で遊んでいる子供のようなもの。時になめらかな小石を見つけたら、綺麗な貝を見つたりしてはしゃいでいる存在に過ぎない。まだまだ発見されることの多い大きな海を目の前にして：』

「分からない」と言い続けることこそ、真面目な態度だといえます。

ヤンキースの松井選手がテレビで「一〇〇%理論を実践しているので、打席では緊張しません」と話しておられました。打てる球を一〇〇%打てるようにしておけば、打席では打てる球かどうかを見分けるだけで良い。打てない球が来たら諦める。経験・記憶・覚悟で打席に立つのだ。緊張は必要ないとのこと。やはり一流選手はスゴイですね。悟りの世界を話す高僧のように見えました。

私は打てない球を諦められません。準備不足を後悔しつつ、ファンや仲間からの罵声を怖がり小さく緊張し、神や仏にヒットを願うでしょう。けれど多分、無残に敗退するでしょう。それでも、その貴重な経験を整理し・活か

す努力をせずに「もう分かった」等と言って野球を辞めるかもしれません。私達は、想定外の海に浮かぶ小船のようです。頼りなさ過ぎて、逆にこの航海は安全だと信じるようになります。

「信じる」は、安全が保証された時よりも、危険にさらされた時に多く使われます。「リングは必ず落ちると信じる」は変です。「彼は悪い人でないと信じる」と使う。騙されそうな感じがします。私達の心は信じれば信じるほど不安になって行きます。どちらが先か分かりませんが、信じる心が不安につつまれているは確かです。危機を感じ目をつぶったのだから当然です。

つぶった目をもう一度見開くためには、想定外の海を、魔物の棲む所ではなく、尊さに出遭える場所と確信する必要があります。「如来(アミダ)無量」からたまわる信心」は、この確信のことだと想像しています。この確信を得たら、やっぱり難破は嫌だけど、怖くはなくなるでしょう。難所毎に尊さに出遭っていく、信心を証していく航海へと変わります。この信心が「生死の苦海」をそのまま「本願海」に転じます。この確信を疑うことは、松井選手に野球をする理由を尋ねると同様、意味がありません。

十方衆生のためにとて 如来の法蔵あつめてぞ

本願弘誓に帰せしむる 大心海に帰命せよ

《讚阿弥陀佛偈和讚より》

帰命により信心を賜り、賜った信心が帰命を深める。帰命と信心の動輪を回転させるキツカケは何でしょうか？ 別れの悲しみの向こうに、別れた人の得道の姿を見たときだと思います。

「御開山親鸞聖人略年表」

御開山の年表をまとめます。

今後、少しずつ校正し、書き足していこうと思います。

【参考】平松令三著『親鸞』吉川弘文館

西暦 年号 事項

一一七三 承安三 下級貴族・日野有範の長子として誕生

一一八一 養和元 慈円の坊で出家する 法名を範宴とする

比叡山での修行生活が始まる

一一〇一 建仁元 六角堂に百日参籠し、夢告を得る

比叡山を下り、法然の門に入る 善信坊綽空

三年後『選択集』を伝授され改名 善信坊親鸞

・信行両座、信心諍論のエピソードあり

一一〇七 承元元 念仏停止 法然は四国へ、親鸞は越後へ流される

一一一一 建暦元 流罪赦免 その後数年越後に留まり関東に出る

一一二四 建保二 上野佐貫で三部経千部読誦を發願するも中断

呪術的な儀式について反省

下妻・稲田・高田と移り住み弟子を増やす

一一三五 文暦二 この頃、鎌倉幕府の一切経校合に参加

その後、京都へ帰洛

・箱根権現の招待のエピソード

一一五六 建長八 関東教団が造悪無碍の説などに動揺した 息子の

善鸞を送るが、勝手な説を唱え、教団を危機にお

としめた やむなく善鸞を義絶

一一六二 弘長二 示寂

「親鸞聖人と専修寺」

親鸞聖人は、関東各地を御教化中に、明星天子の夢のお告げを得て、五十

四歳のとき栃木県芳賀郡二宮町高田の地に一字を建立し、専修念仏の根本道場とせられました。ご本尊には、長野善光寺からお迎えした一光三尊仏を安置し、聖人門弟の中のリーダーであった真仏上人が管理に当たられました。

ここを中心とした教団は、関東各地の檀信徒の中で最も有力な教団となり、京都へ帰られた聖人からは、しばしば自筆のお手紙や、ご自分で書き写された書物などが送られて来ました。

その後、高田教団は次第に発展し、専修寺は「本寺」と呼ばれて全国から崇敬を集めるようになりましたが、それを一段と飛躍させたのが第十世真慧上人で、東海・北陸方面に教化を拡げると共に、朝廷の尊崇を得て、専修寺は皇室の御祈願所ともなりました。

一身田の専修寺はその真慧上人が伊勢国内の中心寺院として建てられたものでしたが、関東の本寺が兵火によって炎上したりしたため、歴代上人がこちらに居住されるようになって、ここが本山として定着しました。

一身田専修寺の伽藍も二度の火災に遭いましたが、りっぱに再建され、檀信徒の崇拜はますます高まりました。聖人の数多いご真筆類は、今も大切に伝持され、教団の誇りとなっています。

専修寺パンフレットより

真宗十派といわれます。その中で高田派は最古の教団です。

末寺数は六〇〇程度です。知名度・大きさなど東西本願寺派に遠く及びませんが、なかなか魅力的な教団だと思います。

「願成寺の沿革」

本山宗務院発行の『高田の寺々』という本を参考に当山の沿革をまとめます。ただし内容は当山から本山へレポートしたものだと思えます。出典など不明なため、参考程度に見て下さい。

一五二二年 大永二 行円法師が関屋町に創建した

一五九〇年 天正一八 池田輝政公が吉田に入封する

戦略拠点と経済基盤の確立のため吉田城改築と城下町の整備を図る

検地を実施し 城域を南から西にかけて拡張
当山は関屋町から指笠町へ移転した

一七八六年 天明六 大火災が本町から出火し、類焼し全焼した

寺子屋を始め 藩士や庶民の子弟教育の場として親しまれた

書・読を中心に師匠一人で数十人の筆子を受け持ち 修学年数は大体四年間だった

当山の寺子屋は常時一〇〇人余（最高一五〇人）の筆子を数え、吉田で一番栄えた

明治五年の新学制公布とともに廃止された

一九二二年 大正十 現在地に移転した

当山の第十三代快雨院暁空諦信師は俳句・南画を能くした。

墓所には豊橋の政治・経済の発展に尽くし、

初代豊橋市長を勤めた三浦碧水（一八四一〜一九一五）の墓がある。

「本堂の修理など」

■ 御開山親鸞聖人の七五〇回御遠忌まで六年。

当山開山から約五〇〇年。当地移転から約一〇〇年。節目が来るなと思えます。

■ 現在の本堂は戦火を免れて築百年です。傷みが目立ってきました。もともと移築の建物で、部材の強度など大地震に対して心配です。

■ 耐震診断をお願いしました。

大手建設会社は、新築すべきと判定しました。

金属屋根の会社は、

・基礎を固め、傾いている柱を起す

・筋交い・壁を増やす

・軽い（金属）屋根

で対応可と判定しました。

■ 修理したいです。

資金には、貯金と法会等の

御懇志を充てます。

工事期間は一年です。

■ 他に必要と思うこと。

・ 国道に面した塀の修理

・ 墓地の拡張

など

□ まだまだ未定の事業です。

ご意見をお寄せ下さい。

